

2021 年 9 月 1 9 日 霊修会合同礼拝

【ご自宅での礼拝の手引き】

別紙の礼拝順序に沿って、声を出して行いましょう。

- ・ 賛美 聖歌を歌います
- ・ 主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・ 交読 交読箇所を読みます

- ・ 礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」

- ・ 聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・ 説教 卷頭言を読み、主の語りかけを思い巡らしましょう
- ・ 賛美 聖歌を歌います

- ・ 献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。

- ・ 頌栄 頌栄をささげます

- ・ 祝福 心の中で祝福を聞き、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上に とこしえにありますように アーメン」

■聖歌 25 「御神の愛をば」

- ①御神の愛をば歌うわれらの 胸は開きたり 花のごとくに
御顔の光に迷いの霧も 疑いの雲も消えてあとなし
- ②御使い 聖徒ら 歌え みいつを 月・星・太陽 たたえよ神を
雪ふる たかねも 花咲く谷も 林も野原も 砂漠も海も
- ③御神は罪ある者をも愛し 御子なるイエスをば遣わしませり
赦しの御恵み きよむる力 筆にも声にも のべつくしえず
- ④御神はわれらの父親なれば 御子なるイエスをば兄上とよばん
よびとよ親しみ 互いに助け 御旨のなる日を 忍び待てかし

■主の祈り 天にましますわれらの父よ。ねがわくは 御名^{みな}をあがめさせたまえ。御国^{みくに}をきたらせたまえ。御心^{みこころ}の天になるごとく、地にもなさせたまえ。われらの日用^{にちよう}の糧^{かて}を今日もあたえたまえ。われらに罪をおかすものを われらが 赦すごとく、われらの罪をも赦したまえ。われらを こころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは かぎりなく なんじのものなればなり。アーメン

■交読 詩篇 4 2 篇 1～5 節

- 1 鹿が谷川の流れを慕いあえぐように
神よ 私のたましいはあなたを慕いあえます。
- 2 私のたましいは 神を
生ける神を求めて渴いています。
いつになれば 私は行って
神の御前に出られるのでしょうか
- 3 昼も夜も 私の涙が 私の食べ物でした
「おまえの神はどこにいるのか」と
人が絶えず私に言う間。
- 4 私は自分のうちで思い起こし 私のたましいを注ぎ出しています。私が祭りを祝う群衆とともに 喜びと感謝の声をあげて
あの群れと一緒に 神の家へとゆっくり歩んで行ったことなどを。

- 5 わがたましいよ。
なぜ おまえはうなだれているのか。
私のうちで思い乱れているのか。
神を待ち望め。
私はなおも神をほめたたえる。
御顔の救いを。

■聖書朗読 ローマ人への手紙 1章 1～8節

- 1 キリスト・イエスのしもべ、神の福音のために選り出され、使徒として召されたパウロから。
- 2 —この福音は、神がご自分の預言者たちを通して、聖書にあらかじめ約束されたもので、
- 3 御子に関するものです。御子は、肉によればダビデの子孫から生まれ、
- 4 聖なる霊によれば、死者の中からの復活により、力ある神の子として公に示された方、私たちの主イエス・キリストです。
- 5 この方によって、私たちは恵みと使徒の務めを受けました。御名のために、すべての異邦人の中に信仰の従順をもたらすためです。
- 6 その異邦人たちの中であって、あなたがたも召されてイエス・キリストのものとなりました——
- 7 ローマにいるすべての、神に愛され、召された聖徒たちへ。私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにありますように。
- 8 まず初めに、私はあなたがたすべてについて、イエス・キリストを通して私の神に感謝します。全世界であなたがたの信仰が語り伝えられているからです。

■聖歌 5 7 7 「聖なるものと」

- ①聖なる者と なさんとして 主 われらをば召したまえば
聖なるものを追い求めて 俗（ぞく）なるものと 手をば切らん
- ②聖なる者と ならんため 聖なる君の言う言葉を
信じて学び実行せば 大御心^{おおみこころ}に沿うことを得ん
- ③聖霊の火よ ああ われらに 天より下り聖別^な成し
主イエス 君^{きみ}に愛せらるる まったき者と成したまえ
- ④聖なる者とならんため 主ただひとり仰ぎ求め
愛する宝 愛する者 残らず君^{きみ}の 手にゆだねん

■頌栄 聖歌 3 7 6 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄^{みさかえ}えあれ 御栄^{みさかえ}えあれ アーメン

※聖会のソングシートも同封しています。

ぜひそちらもご利用ください。